

# 大使館便り

第179号 平成30年2月1日  
在ポルトガル日本国大使館

## 1. 新美大使からのご挨拶

最近、リスボンとポルトの補習授業校を相次いで訪問し、生徒さん達の元気な姿を拝見すると共に、教職員や運営委員会の方々とお話する機会を得ました。生徒さん達は平日通っている学校のクラスメート達が自由に過ごす土曜日に補習授業校で勉強しておられる訳で、そのような経験もなく、人生で一度も転校すら経験したことのない私としては、生徒さん達をつくづく立派と思わずにはられません。

最近の日本の若者は内向きになっていると言われます。これがどの程度正しいかはわかりませんが、私が数年前米国で勤務した時の経験では、かつて米国の大学で学ぶ外国人留学生の出身国別ランクで日本は1位でしたが、その後ピーク時から留学生が6割減少し、2012年の時点では国別で第10位。1位の中国の10分の1の規模にまで縮小しておりました。

日本とポルトガル、2つの文化を肌で知る補習授業校の生徒さん達は、両国にとって大切な存在です。生徒さん、そして学校を支える関係者、父兄の方々に敬意を表する次第です。

## 2. 二国間関係

(1) 1月11～14日にかけて、新美大使は着任後初めてポルト市を訪問しました。ポルトは、ポルトガル第2の都市であり、また本年長崎市との姉妹都市交流40周年を迎える予定のところ、在留邦人の皆様をはじめ現地関係者との関係強化を目的として訪問しました。新美大使は、モレイラ・ポルト市長、ロドリゲス・ヴィラ・ノヴァ・デ・ガイア市長と会談したほか、ラモス在ポルト名誉総領事に再任の辞令を手交しました。また、ポルトの日本人会や日本語補習校を訪問して、現地在留邦人の皆様に挨拶させていただきました。(モレイラ市長との会談：ポルト市撮影)



(2) 1月29日から2月2日にかけて、マルケス企画インフラ大臣、ブリリャンテ・ディアス外務省国際化担当副大臣、エンリケス投資貿易振興庁(AICEP)長官等が訪日しました。日本滞在中、石井国土交通大臣、堀井(学)外務大臣政務官、大串経済産業大臣政務官の政府関係者や関係企業各代表と会談したほか、投資セミナーに参加しました。

## 3. 政治・経済関係

(1) ソウザ大統領の新年のメッセージ

1月1日、ソウザ大統領は新年の挨拶を発表しました。大統領は、2017年の世界情勢につき、平和と自由経済が求められる中、脅威と保護主義に直面したとしつつ、ポルトガルでも喜びと悲しみの相反する出来事があったと述べました。同大統領は、グテーレス元首相の国連事務総長就任、財政・銀行の安定、雇用の回復、過剰財政赤字是正手続の終了、そしてセンターノ財務相のユーログループ議長就任、また、ポルトガル人歌手によるユーロビジョン優勝、IT分野や文化・芸術・スポーツの成功を背景とした観光業の盛況等を振り返りつつ、一方において多くの犠牲者を出した大規模森林火災を痛ましい出来事として想起しました。その上で新年は気持ちを改めて前を向いて進んでいくことを呼びかけました。

## (2) サントス・シルヴァ外相スピーチ

1月3日、サントス・シルヴァ外相は外交セミナーで講演を行い、ポルトガル外交の柱は、欧州統合、大西洋、CPLP、在外ポルトガル人コミュニティにあると述べました。その上で2018年は、ポルトガルの経済、社会、高等教育、文化、言語教育、科学およびイノベーションの国際化を図っていく必要があると述べました。また、今後の主要な予定として、第3回目となるWEBサミット、メキシコのグアダハラ図書展への招待国参加、ポルトガルの日（6月10日の国祭日）式典の米国における開催（ソウザ大統領及びコスタ首相が参加予定）、（マゼランの）世界周航500周年を挙げました。

## (3) 失業率、2005年2月以来の低水準に

1月8日、ポルトガル国立統計院（INE）は、2017年10月の失業率が、2005年2月以来の低水準となる8.4%まで下がったと発表しました。INEの統計によれば、失業人口は43万5000人で、前月から4,600人減少しました。INEは、2017年11月の失業率を8.2%と予測しており、実現すれば2004年11月以来の低水準となります。

## (4) 2017年財政赤字

1月9日、コスタ首相は、2017年の財政赤字の対GDP比が1.2%に、また、公的債務残高の対GDP比が126.2%となる旨を発表しました。財政赤字の対GDP比は、当初の政府予測は1.4%であり、コスタ首相は12月にこれを下方修正して1.3%としており、今回、更に下方修正されたこととなります。

## (5) 第4回南欧サミット

1月10日、ローマにおいて、ポルトガル、イタリア、フランス、スペイン、キプロス、ギリシャ、マルタ各国首脳の下、第4回南欧サミットが開催されました。ポルトガルからはコスタ首相が参加しました。会合においては、経済成長、エネルギー安全保障、移民、雇用等の問題につき議論が行われました。

## (6) センターノ財務大臣のユーログループ議長就任

1月12日、センターノ財務大臣がユーロ圏財務相会合（ユーログループ）の議長に就任しま

した。17日、議長として初のスピーチにおいて、同財相は、今般の議長就任はポルトガルが困難を乗り越えて経済危機を脱却したことが評価されたものであるとしつつ、同じ熱意を持ってユーロ圏の挑戦に取り組むと述べました。その上でユーロ圏は近年の困難を乗り越え、確固たる回復基調に入ったことを指摘しつつ、ユーロ圏改革を進める好機が到来していると強調しました。また、構造改革、財政規律、経済成長、弱者の支援を挙げ、各国の政策協調の重要性を訴えました。この他、ユーロ圏の統合を一層進めるべきとし、銀行同盟の完成を最優先課題とする旨述べました。

#### (7) アンドラ首相のポルトガル訪問

1月12日、アントニ・マルティ・アンドラ首相がポルトガルを訪問し、コスタ首相と会談を行いました。会談においては、アンドラのポルトガル人コミュニティが取り上げられ、同国からポルトガルの公共サービスにアクセスするための電子署名に関する合意文書の署名が行われました。

#### (8) 社会民主党党首選挙

1月13日、社会民主党(PSD)の党首選が行われました。同選挙においては、パッソス・コエーリョ党首(前首相)に支持されたサンタナ・ロペス元首相と中道左派で反主流派のリオ元ポルト市長が争いましたが、結局、リオ候補が54.4%の得票を得て次期党首に当選しました。新党首は2月16～18日に開催されるPSD党大会において就任する予定であり、パッソス・コエーリョ党首は政界を引退する意向を示しています。

#### (9) コスタ首相のスロベニア公式訪問

1月17日、コスタ首相はスロベニアを公式訪問しました。訪問中、コスタ首相は、ミロ・ツェラル首相と会談したほか、ボルト・パホル大統領、ミラン・ブルグレズ下院議長を表敬訪問しました。ポルトガルは、2021年にドイツとスロベニアと共にEU議長国に就任予定のところ、本件訪問は同就任に向けた準備に資すると述べました。

#### (10) 韓国国会議長のポルトガル訪問

1月18日、丁世均韓国国会議長をはじめとする議員団がポルトガルを訪問しました。同議長は、ソウザ大統領、コスタ首相をそれぞれ表敬訪問したほか、ロドリゲス共和国議会議長主催の歓迎式典に臨みました。コスタ首相は、同会談は両国が関係深化に向けて互いに努力していることを示すものであったと述べました。

#### (11) 国家評議会会合

1月19日、ソウザ大統領は、国家評議会会合を開催した。同会合は、2020年以降の開発計画につき議論するものでありました。政府は、現在、「ポルトガル2030(開発計画)」策定に向けた準備を進めており、その観点からEU基金を活用した2021～27年のプロジェクト案の策定を急いでいます。

## (12) コスタ首相の世界経済フォーラム出席

1月23～26日にかけて、コスタ首相は世界経済フォーラム会合に出席するためダボスを訪問。同首相には、センターノ財務大臣、カデイラ・カブラル経済大臣等が同行しました。コスタ首相は、ロウレンソ・アンゴラ大統領、ラガルド IMF 専務理事、モスコビッチ欧州委員等と会談したほか、ポルトガルへの投資等を呼びかけるセミナー、海洋の持続的利用に関するセミナー、欧州の将来に関するパネル等に参加しました。また、コスタ首相はスピーチにおいて、2017年 WEB サミットの成果として、グーグル社が欧州・中東・アフリカをカバーするサービス・センターを6月にリスボン近郊のオエイラスに開設し、500名の雇用が創出される予定である旨発表しました。

## 4. 広報・文化関係

### (イベント)

日本・ポルトガル交流史を研究する Inês Matos 氏による日本文化教育研究プロジェクト「日本の長い夏」主催のイベントが下記のとおり開催されています。

#### a. 墨絵の講習と実践

講師：Paula Walker (プラスチックアート)

日時：2月2日(金)～3月23日(金)の毎金曜日 18:30～

会場：Instituto Universitário Justiça e Paz, A 教室

住所：Rua Couraça de Lisboa 30, 3000-434, Coimbra

お問い合わせ：[umlongoveraonojapao@gmail.com](mailto:umlongoveraonojapao@gmail.com)

URL：<http://www.umlongoveraonojapao.com/>

Facebook：<http://www.facebook.com/inescarvalhomatos/>

参加費：120ユーロ(事前申込要)



b. 東洋読書クラブ（日本人作家による作品をテーマにした講演会）

テーマ作品：森島守人著「真珠湾・リスボン・東京」

（スピーカー：Paulo Ramos（同作品のポポ語訳版編集者））

日時：2月3日（土） 16：00～

会場：Instituto Universitário Justiça e Paz、A 教室

住所：Rua Couraça de Lisboa 30, 3000-434, Coimbra

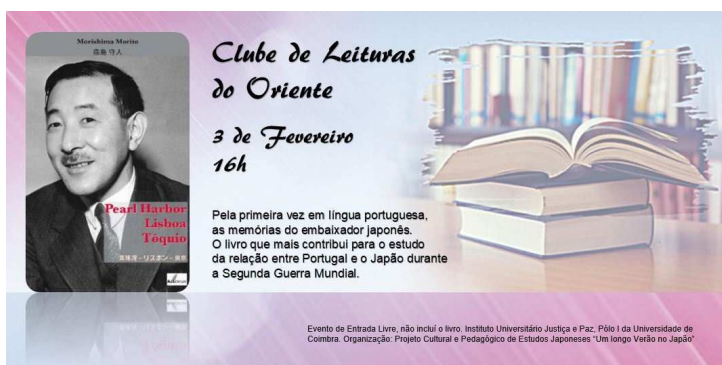
お問い合わせ：[umlongoveraonojapao@gmail.com](mailto:umlongoveraonojapao@gmail.com)

URL：<http://www.umlongoveraonojapao.com/>

Facebook：<http://www.facebook.com/inescarvalhomatos/>

入場無料

備考：可能であれば上記作品を予め読んだ上での参加が望ましい。



（お知らせ）

・ 広報文化班からのお知らせ

今後、当館主（共）催による日本関連イベント開催に当たり、大使館便りに加えてEメールによる招待状やイベント情報の送付を希望される方は、[cultural@lb.mofa.go.jp](mailto:cultural@lb.mofa.go.jp) までご連絡下さい。

## 5. 領事関係

### （1）在留届に関するお願い

近年、海外で生活する日本人が急増し、このため海外で事件や事故等思わぬ災害に巻き込まれるケースが増加しています。万一、在留邦人の皆様がこのような事態に遭われた場合には、日本国大使館や総領事館は「在留届」を基に皆様の所在地や緊急連絡先又は日本国内の連絡先等を確認して援護活動を行っています。

当館でも、皆様に提出いただいた在留届により連絡先の把握を行い、大使館からの海外危険情報や広報文化活動などの情報提供、緊急時の連絡網整備、安否確認に役立てているところです。

このため、**ポルトガル国内での転居、日本への帰国、他国への転出等**、在留届の届け出事項に変更が生じた後、引き続きこの大使館便りをご覧の方は、速やかにその旨を下記領事班あてにE-mailにてご連絡下さい。

また、皆様の友人・知人で「ポルトガルに居住しているが、まだ在留届を提出していない方」がおられましたら、届出を行うようご案内下さい。

## (2) 在外選挙人名簿登録

外国に在住する日本人が衆議院議員選挙、参議院議員選挙をするためには、在外選挙人登録が必要です。18歳以上で日本国籍を持っていること、ポルトガルに3か月以上住んでいること、日本で転出届を市町村役場に提出済であることが必要です。なお、3か月未満のポルトガル在住でも申請できますが、居住期間の3か月经過時に改めて所在を確認した上で登録申請先の国内選挙管理委員会に送付することとなりますのでご注意ください。登録申請のためには旅券を持参ください。

## (3) 「たびレジ」登録

在留邦人の皆様が、ポルトガル以外に旅行される場合には「たびレジ」の登録をお願いします。「たびレジ」に登録しますと、現地の大使館からの安全情報をスマートフォン等で受信することが出来ます。登録はこちら。<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

## (4) 当館領事業務へのご意見募集

当館では、領事サービスの向上を図るため、皆様からのご意見を募集しています。どのような些細な事柄でも結構ですので、ご意見・ご要望等があれば、お気軽に下記領事班あてにE-mailにてご連絡下さい。

在ポルトガル日本国大使館（領事班）

住所：Avenida da Liberdade 245-6 1269-033 Lisboa

TEL：21-311-0560 FAX：21-354-3975

E-mail：[consular@lb.mofa.go.jp](mailto:consular@lb.mofa.go.jp)

(了)